

会議録

1 会議名

令和3年度 第1回 上越市博物館協議会

2 議題

(1) 歴史博物館事業報告

①開館3年目及び令和2年度事業の成果について（公開）

②令和4年度の事業計画について（非公開）

(2) 水族博物館事業報告

①開館3年目及び令和2年度事業の成果について（公開）

②令和4年度の事業計画について（非公開）

3 会議方法

文書資料の送付と意見書の提出による書面会議

※新型コロナウイルス対策のため

4 開催日時

令和3年9月10日（金）

※意見書の提出期限日を以て会議の成立とする

5 意見書を提出した委員

歴史博物館部会：斎藤良人・清沢總・浅倉有子・増田小夜子

水族博物館部会：大山賢一・山下優子・関谷伸一・渡邊憲一・岩井文弘

6 意見書の内容

【歴史博物館部会】

① 開館3年目及び令和2年度事業の成果について（公開）

《清沢副部長》

- ・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言や大雪と一斉雪下ろし排雪作業のための臨時休館で、相当な入館者数の減少があったことは致し方ない。上越市内の、あるいは糸魚川市、妙高市も同様な傾向であったのではないかと推測して

いる。そのような状況下で、来館された方々がどのような理由で上越市立歴史博物館を訪れたのか、具体的な理由を把握していたら教えて欲しい。

- ・「満足度」評価方法について、県内や県外の同様な歴史博物館で類似の方法を採っているところがあったら教えていただきたい。
- ・「上越市立歴史博物館」と新たに名称が変わったあと、高田城三重櫓の所管替えや高田城址公園、観蓮会への名称変更などの変化のなかで、コロナ禍が広がった。このような目まぐるしさのなかで、少ないスタッフが一生懸命その任務を果たされてきたこと敬服の至りである。

《斎藤委員》

- ・全体として、新型コロナウイルス禍及びそれに伴う休館があった中、45千人超の入館者、観覧者数11千人（含無料）超の実績は展覧会企画、広報共に十分な努力がなされたものと評価できる。
- ・教育普及事業では、コロナ対策で企画展示解説の一部が中止となったが、市内イベント開催中や視察・団体申込など随時対応を行っている。市立博物館として重要な役割を認識している。
- ・「上越市立歴史博物館年報・紀要 第1号」が発刊された。博物館としての展覧会のみならず、調査・研究活動の発表の場としては非常に重要なものであり、継続的な発刊を希望する。

《浅倉委員》

- ・企画展は、基本的に充実していると思う。ややスペースが狭いように感じるが、疲れなくてよいと思う。
- ・直近のレルヒ展は、大変興味深い内容であった。展示解説会に参加できたので一層そう感じた。音声解説導入は経費的に難しいと思うので、展示解説会があることをもっと宣伝できたらよいと思う。解説会の参加人数を教えて欲しい。
- ・「探検！むかしのくらし」が、学校現場にしっかり根付いていると思う。
- ・デジタル版でも学芸員の研究成果が紀要で公開できるようになり、なによりである。アクセス数がわかれば教えて欲しい。

- ・ワークシートの配布・岡沢拠点収蔵施設の公開も良い試みである。ワークシートの現物を見たい。

《増田小夜子》

- ・令和2年度について、新型コロナウイルスと大雪の影響による臨時休館があり、目標に達しなかったことは致し方ないとする。その影響をもろに受けた「楊洲周延展」は不運であった。コロナ期間は、外出自粛、おうち時間が奨励されたことが博物館美術館への足を鈍らせた一因である。
- ・「直江津今町と北前船の時代」は、かつて隆盛を誇った時代の直江津を知る良い機会だった。入館者数も目標に近づいた。
- ・新収蔵品展について、コロナによる自粛期間とはいえ、観桜会含み、人出が期待できる期間の展示。展示室に入ると、まず御姫様を運んだ美しい蒔絵のお輿が目にとまった。新収蔵ではこれだけですが、関連して、旧収蔵の中に調度品や衣装などがあれば、併せて展示していただけると、華やかで満足感のある展示になると思った。
- ・レルヒ少佐と高田の友人たちについて、“友人”に的を絞ったため、レルヒさんの人物像が鮮明に、より分かりやすくなった。わずか一年の駐在にもかかわらず、高田の人たちがレルヒさんに寄せた温かい思いを知った。

② 令和4年度の事業計画について（非公開）

【水族博物館部会】

① 開館3年目及び令和2年度事業の成果について（公開）

《関谷副委員長》

- ・コロナ禍で一時的な休館や入館者数の減少という厳しい状況の中での関係者の皆さんの努力に敬意を表す。
- ・令和2年度の取り組みについては、コロナ感染防止対策も適切に行われている。また入場口から始まって、館内の係員の対応が大変親切・さわやかであった。各水槽の内照式解説板の増設や種名板の角度調節など、来館者へのきめ細やか

なサービスがありがたい。コロナ感染対策のためバックヤードツアーが縮小気味であったが、その他の小中学生に対する教育普及活動が活発に行われている。

《渡邊副部長》

- ・オープン初年度は入館者数約 80 万人と好スタートを切ったが、2 年目以降はイルカの死亡事故に続いてコロナ禍という不運に見舞われ、入館者数が大きく減少したのは、市民の新装オープンに対する期待も大きかっただけに大変残念であった。今後コロナの感染状況がどのように変化するか不明であるが、広く社会活動が回復すると思われる令和 4 年度以降の数年間こそ、本水族館の真価が問われる重要な時期であると思われる。ぜひ、初年度入館者数の回復を目指して頑張ってもらいたい。
- ・本水族館の目玉展示の一つであるマゼランペンギンの繁殖成果や雛の飼育状況がマスコミに取り上げられて話題となり、大きな PR になったのではないと思う。本種はレッドリストで絶滅危惧種（NT）に指定されており、本水族館は国内で初めて、アルゼンチン共和国チュブ州から生息域外重要繁殖地として指定を受けている。これまでも教育普及活動などを通して啓発活動等が行われてきたと思うが、飼育展示がこのような意義深い活動につながっていることを、もっと多くの人に知ってもらうことで、水族館の存在意義がさらに高まり、集客効果にもつながるのではないだろうか。

《大山委員》

- ・新型コロナウイルスの感染対応と前向きな取り組みが行われた。全職員が一丸となって感染対応を行い、うみがたりで一人も感染者を出さなかったことはとても良かった。またさまざまな工夫や展示により、来館者が楽しめ、気持ちよく帰れるようにしていたことはとても良いと思った。今年 3 月に家族で入館したが、時間を忘れて楽しむことができた。その際に出会った飼育員さんからは、魚の特徴や飼育のポイントなどを詳しく聞くことができ、笑顔で明るく接してくれる姿に充実感や満足感を持って仕事をしていると感じ、頼もしく思えた。すべての職員が、いきいきと充実感を持って仕事をしてほしいと願っている。

《山下委員》

- ・コロナウイルス対応で事業の縮小や休止・休館を余儀なくされる中で、タッチングプールの活用や企画展の実施、さらには勤務体制の変更等、多くの対応工夫がなされてきた。生物と人があつての水族博物館、労に感謝したい。
- ・R2特別展「食べがたり」は館名「うみがたり」に因み、且つテーマも明確で、2か月にわたる取組として意義が認められる。繁忙期以外の入館者数が確保されたところから、関心と呼んだと推測される。動画配信のアクセス状況等を分析し、今後に活かしてほしい。また他機関との連携・協力を継続し、内容の充実を図りたい。
- ・R3マンスリー水槽設置の成果を期待する。新企画が定着するよう、事前周知（年間計画あるいは3か月単位など）を早く計画的に行うとよい。
- ・R2・R3とも、糸魚川方面をはじめ、地域とつながった展示が充実している。海洋生物にかかわるタイムリーな話題提供により、博物館の意義役割を広げる良い取り組みである。地方紙等にも随時取り上げられ、注目度を高めている。単発の話題提供に終わらず、その後も伝えていく工夫をし、さらなる充実を望む。

《岩井委員》

- ・コロナ禍で集客が懸念されたが、令和3年度（4月～6月）は順調だと聞いて安心した。コロナに関しては、小・中学生、高校生の入館制限、職員の勤務体制の変更をしていただいたが、基本的には空気の入れ替え、マスク、手洗い、三密を避けることが大切だと思う。
- ・子どもの学習意欲を高めるために「食べがたり」、「マンスリー水槽」を実施したことは大変良かった。
- ・鯨類の死亡については、検証委員会が「環境変化によるストレス」と結論付けた。そのため、現在イルカプールの日除け工事がされているが、今後も鯨類にストレスを与えないようにしなければならない。

② 令和4年度の事業計画について（非公開）

【会議のまとめ】

- ・意見集約の結果、両館の事業報告及び次年度事業計画について、了解を得られたものと考えます。個別の要望については次回協議会において回答するものとしします。
- ・協議会委員長・副委員長、及び各部会の正副部長については、事務局案を示し、これに対し各委員からの疑義はなかったことから、以下の通り承認されたものとしします。

上越市博物館協議会委員長	川村知行委員
同副委員長	関谷伸一委員
歴史博物館部会部会長	川村知行委員
同副部会長	清沢 總 委員
水族博物館部会部会長	関谷伸一委員
同副部会長	渡邊憲一委員

7 問合せ先

教育総務課	TEL : 025 - 545 - 9243
	E-mail : ks-kikaku@city.joetsu.lg.jp
上越市立歴史博物館	TEL : 025 - 524 - 3120
	E-mail : museum@city.joetsu.lg.jp

8 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。